

## 文教厚生委員会会議録

平成23年10月11日（火）

午後1時30分 開 会

### ○山田清一委員長

文教厚生委員会を開会します。

閉会中の調査事項についてを議題とします。県外視察については、10月31日から11月2日で実施することになっておりまして、視察先3カ所を正副委員長で決めさせていただきました。お手元にお配りした行程表のとおり、1日目は夢のみずうみ村・山口デイサービスセンター、2日目は和歌山県和歌山市、3日目は和歌山県橋本市を予定しております。視察行程の中で、何点かご了解いただきたいことがありますので事務局から説明させます。

### ○事務局

1日目の昼食はのぞみ車内で早めの食事をとります。湯田温泉駅から山口デイサービスセンターまではタクシー3台で向かいます。山口デイサービスセンターでは、見学科が一人1,000円かかりますが、旅費雑費で賄います。一般の見学者と同じ見学コースですので、資料5ページにあります注意事項を読んでおいてください。2日目の昼食は、和歌山駅に到着後、午後1時過ぎになります。

### ○山田清一委員長

以上のとおり、移動距離も長く不便もあろうかと思いますが、ご協力をお願いします。次に、各視察先の特徴的な点について、当局から説明をお願いします。

### ○杉浦地域福祉課長

概要5ページから16ページにあります夢のみずうみ村山口デイサービスセンターについては、水先案内人という役割の施設の利用者さんに施設の案内役をお願いしています。この施設では、家庭において遭遇する可能性のある階段、狭い通路などによる転倒の危険、また火や機械、道具を使う危険性を克服するための方法を、体験学習していただくことを狙って、障壁（バリア）がある環境、すなわちバリアアアリーを設置し、加齢や障がいにより劣ってしまった身体能力を悪化させることを防ぎ、自分のできそうなところから機能訓練ができる施設となっています。この施設では、7ページにあるように、施設内だけで使える村内通貨 YUME を使い、各リハビリプログラムに参加するときは YUME で支払い、クイズやカジノで YUME を稼ぐこともできるようです。今回私どもを案内してくださる案内人の方も、案内するという仕事で YUME を稼いでいると聞いております。ここでの介護予防による効果は、12ページにありますように改善率として効果が表れています。介護認定を受けた介護度が改善されていくという点です。この施設は、自己選択、自己決定という、利用者が自分の意思でその一日の介護予防メニューを決めているところも人があると伺っております。

次に17ページ、和歌山市については、厚生労働省が介護予防施策の先進事例として紹介している自治体の一つです。和歌山大学と県が共同開発して、実践と普及を進めてきた高齢者向け筋肉トレーニング、わかやまシニアエクササイズを実践する運動教室を実施しています。この運動教室の対象者は、介護認定を受ける前の2次予防対象者及び一般高齢者となっています。平成18年度から実践を重ね、21年度からは運動とともに歌を歌うことで認知症の予防にも取り組んでいます。運動をしながら童謡や演歌を歌うなど、二つのことを同時に行うことで脳の活性化を図るものです。効果としては、トレーニングを実施し、2年後までの体

力年齢を算出して評価しており、徐々に若返りの効果があるとされています。また、介護予防ボランティアリーダーの養成にも力を入れており、養成講座を終了した方々で、わかやまシニアエクササイズの会が発足しており、市が推奨している介護予防事業に積極的に協力していると聞いています。

続きまして、22 ページの橋本市については、平成 15 年度から、介護予防事業として体力づくり教室を実施しており、17 年度からは、和歌山市で紹介したわかやまシニアエクササイズをげんきらりー教室と名称を変えて実施しています。対象者も同じ 65 歳以上の介護認定前の高齢者として、3 か月を 1 クールとして合計 2 クール(合計 18 回)実施しているようです。特徴は、どこでも気軽にいつまでも、をモットーに、教室終了後も引き続きトレーニングを実施していただける自主運営教室が展開できているところにあります。自主運営教室は老人クラブや区長、民生委員の連携し、地域住民が中心となり運営しており、市としても職員を派遣するなど、トレーニングを支援する体制を整えています。今では市主催の介護予防教室よりも多く開催されているとのこと。効果としては 24 ページにあるように、自主運営教室への参加、不参加に分けた要介護認定リスクの推移にも表れています。市からの補助金等は一切出していないとの記載があります。

○山田清一委員長

ただいま説明がありました。何かご意見等がありましたらお願いします。質問事項については、資料 4 の他にも現地で質問していただければいいのですが、調査表にあらかじめ追加したい項目がありましたら、13 日までにお申し出いただきたいと思います。

しばらく休憩します。

午後 1 時 3 6 分 休 憩

午後 1 時 4 0 分 再 開

○山田清一委員長

会議を開催します。

その他で何かありましたお願いします。

○成田吉毅副委員長

視察とは別件ですが、9 月議会の時に、精神障がい医療費の請願を受けて採択しましたが、その件で議員に手紙が届いています。たんぽぽ家族の会 4 名くらいの方と市長さんを含めた市の方とお話をしたようで、その内容としては、議会を通ったが市が前向きに動いてくれないというようなことでして、どのような話があったのか当局にお聞きしたいのですがよろしいでしょうか。

○大久保福祉部長

私も今日その事実を知り驚いています。代表の方から副市長へ市長にお会いしたいと話があって、福祉部長を通してそういう場を設けるということで、私へ指示がありました。9 月 22 日(木)に市長、福祉部長、保険年金課長の 3 人で相手の方 4 人とお会いしました。その時お伝えしたのは、議会の採択という結果を受けて最優先課題として取り扱っている、できるだけ早く実現するよう制度設計する、ということをお話ししました。相手方は、3 級の軽度のこともおっしゃいましたので、それは議会の総意とは違うということの中で、1 級、2 級の方についてできるだけ早く整合性をとるよう努力はするが、新年度予算の審議が 3 月なので、通ったとしても年度内実施はできるが 4 月開始は無理だと感じていると申し上げると、

いつですかと聞かれました。時期ははっきり言っていないが、早くても年度の中頃になるのではないかと思います。3カ年実施計画や予算査定というルールのもとに、いろいろな部署と調整をとっていくことになる。今から交渉の段階ですので、これから何かあれば私どもを窓口として問い合わせしてください、と申し上げました。そうしたところ、1点目に市側からは最優先に取り組む課題である、2点目に来年4月1日からは無理である、3点目はいつからできるか不明である、という3点の話があった、4月1日からの実現をお願いしたが展望ある市のお話はもらえなかった、という内容の手紙であったと思います。

しかし、決してそういうことではなく、私どもは努力をしております、役所のルールが分からない方々ですので、それを遠回しに言ったことがこういう結果になったのかと思っております。議員の皆さまには採択という結論をいただいておりますので、議員の皆さま方はこれを優先課題として取り扱えというご指導だと認識しておりますので、企画部門、財政部門と調整が必要ですが、できるだけ早い時期に実現するよう努力しておりますのでご理解いただきたいと思っております。

○山田清一委員長

他にありませんか。

【発言なし】

ないようですので、文教厚生委員会を閉会します。

午後1時43分 閉会